

インプット

アクティビティ「1・4・4 改革プラン」

アウトプット

初期アウトカム

中長期アウトカム▶インパクト

人件費 ▶
教育・留学プログラム実施教員、専門職員、事業補助者

物品費 ▶
教育研修設備備品、図書

旅費 ▶
共同学位向け海外調査、海外教員の招へい、派遣プログラム実施

その他 ▶
TOEFL 等 英語試験実施、ポートフォリオ改修費、外国語学習ガイド作成、国際広報誌

運営費交付金 ▶
人件費、物品費、旅費、事業費

外部資金 ▶
世界展開力事業、日本留学海外拠点連携推進事業

寄附金-フロンティア基金 ▶
新渡戸カレッジ支援事業、留学生・国際交流支援事業

ガバナンス強化

改革断行に向けた体制構築 ▶G
大学力強化推進本部 HUCI 統括室／外部有識者会議／データ収集・分析を行う総合 IR 室／特命副学長の設置

全学的な教学マネジメント体制の整備 ▶BDEFGH
総合 IR 室の設置／4 学期制導入／新 GPA 制度／科目ナンバリング、シラバス英語化手引作成

人事制度の国際化 ▶AF
招へい教員制度／クロスアポイントメント制度／年俸制／外国人教職員等の拡大と配置／女性登用

国際対応力の高度化 ▶CFGH
教育研修センター新設／各種研修の実施

国際広報力の強化 ▶E
国際広報部署の新設／海外応援団アンバサダー・パートナーの拡張／同窓会拡大／広報誌

「新渡戸カレッジ」による先進的教育の始動 ▶BCEH

大学院課程の新設／NITOE ポートフォリオ／アクティブラーニング／課題解決型学習／同窓会による教育活動

国際連携研究教育局 (GI-CoRE) による最先端研究・教育の開始／学士課程の国際化 ▶ABCEFGH

海外トップ研究ユニット誘致／学士留学生対象プログラムの開設

海外ラーニング・サテライト (LS) の展開 ▶BCEFI

連携大学の拡大／海外拠点の充実／教育ネットワーク／高い専門性を伴う海外学習

サマー・インスティテュート (HSI) の展開 ▶ABCEFGGI

世界一線級研究者招へい／広大な北海道をフィールドとした実習

A 多様性

B 流動性

C 語学力

D 国際通用性

E 国際開放度

F 人事システム

G ガバナンス

H 教育改革

I 国際学術交流

▶ 5 6 7 12 14 15 17 18
・外国籍教員数 **2.6 倍**
・女性教職員数 **229 人** 増加

▶ 4 7 9 10 12 16 17 19 21
・外国人留学生 **4,000 人** 達成 (通年)、幅広い生活支援
・留学経験者の増加、留学奨学金拡充

▶ 6 7 9 10 12 17 19
・外国語による授業科目 **2 倍**
・日本語教育の充実
・学生の語学レベル向上

▶ 4 7 15 16 17 19
・科目ナンバリング **100 %**
・新 GPA 制度の **全 12 学部** 導入
・シラバスの **完全英語化**
・教育の国際的認証取得と質保証

▶ 4 7 8 9 10 11 12 14 17 19 20
・4 学期制の **全 12 学部** 導入
・入試における国際バカロレアの活用
・渡日前入試、入学許可の実施
・奨学金支給の入学許可時の伝達
・露、北米、ASEAN オフィス新設
・国内外同窓会との協働の展開
・国際広報の一元化、SNS 等有効発信

▶ 5 6 7 17 18
・教員の年俸制適用率 **55.6 %**
・テニュアトラック対象教員 **50 人**
・国際通用性を見据えた人事評価、採用、研修

▶ 1 2 3 6 7 15 17
・大学将来ビジョン「北海道大学近未来戦略 150」の推進
・TOEIC700 点以上の職員 **15.7 %**

▶ 4 7 9 17 20
・学生の実質的学びの時間の確保
・外国語、AO 試験等を活用した入試
・柔軟かつ多様なアカデミックパス

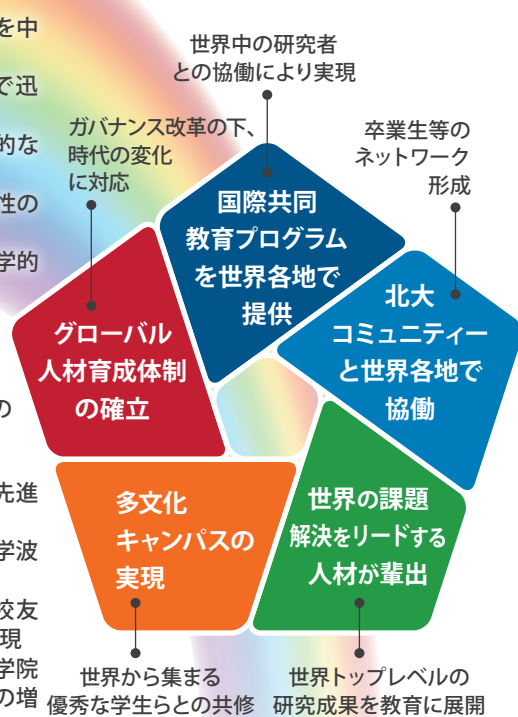
▶ 7 12 13 14 17
・最先端の国際連携研究教育拠点 **8 力所**
・HSI 海外研究者招へい **100 名**
・LS 開講 **60 科目**

ガバナンス・システム (組織)

教育・研究

- ① 外部有識者の助言・評価を中長期ビジョンへ反映
- ② データ分析に基づく的確で迅速な大学意思決定の実現
- ③ 改革実現に向けての全学的な財源措置
- ④ 全学をあげての国際通用性のある環境整備
- ⑤ ダイバーシティに富んだ全学的な組織の実現
- ⑥ 総合的な国際対応力の高度化
- ⑦ 国際的プレゼンスの向上
- ⑧ 国内外同窓会ネットワークの活性化

- ⑨ 「新渡戸カレッジ」による先進的教育の先導
- ⑩ 国際インターンシップの全学波及
- ⑪ 同窓会と産業界による「校友会協働教育システム」の実現
- ⑫ 異分野連携による国際大学院の設置と国際共著論文率の増加
- ⑬ 最先端研究・教育 GI-CoRE 体制の定着
- ⑭ 世界の研究者との学術交流の促進
- ⑮ 共同学位プログラムの展開
- ⑯ 日本と世界をつなぐグローバル人材の育成・輩出
- ⑰ 国際共修の拡大
- ⑱ 多様な教職員の活躍
- ⑲ 学生の流動性向上
- ⑳ 学生の多面的評価、入学選考の質保証
- ㉑ 海外留学支援体制の構築・強化
- ㉒ 自走化を見据えた自己収入の拡大



世界が抱える課題の解決に
貢献し持続可能な社会を実現

北海道大学創基 150 年

BEYOND

2026